

2014年8月14日

# 中日新聞

まんなか場交流イベント事業

第2回「U3ば de ヴィベ」

## 津で17日 大や門どフェス ソビ姿で盆踊りも



「大や門どフェス」の参加を呼び掛ける野田啓子さん  
＝津市大門の市まん中広場で

音楽や食に加え、披露。舞台周辺には、ソビ姿での盆踊りを乗せ、焼きそばや串揚げの移動販売車が集まる。はじむ「大や門どフェス」は、津市大門の市まん中広場が主会場。民芸母や手作りのライブが十七日、午後七時半からは来場者も参加して一斉に踊る「ソビ」盆踊りの名曲。広場では午後一時まで無料でソビ街めぐりに取り組む。また、来場を呼び掛ける。実行委

「市でいよいよ熱い広場に老若男女が集まり、楽しむ時間を通じ、せだら」と来場を呼び掛ける。フェスは午前十時から午後九時までの二部構成。一部は広場の舞台で市のゆるキャラが四体登場し、じゃんけん大会やソビ体験をする。一部はソビの演奏やソビダンスを

大好き。商店街の魅力は、商店街が人の集まる場になってほしい。野田さんは、「一部で病気の母」と舞台に上がり、自身が作詞した守歌「だじじ」を歌う。「母とできるだけ思い出を作りたい」と野田さんは、「青春」から時代を過ごした大門が

「母とできるだけ思い出を作りたい」と野田さんは、「青春」から時代を過ごした大門が

「母とできるだけ思い出を作りたい」と野田さんは、「青春」から時代を過ごした大門が

(煙草香織)

00＝  
電059(213)72

0サポートセンター  
せは広場近くの市NP  
入場無料。問い合わせ

と話す。

り方を提案できたの

な境遇の人に親子の在

詩を考えた。同じよう

二(大事な子)から

ンパ一五人で企画して

母の口癖「だじじ

を歌う。「母とできる

だじじ」

上がり、自身が作詞し

病気の母」と舞台に

野田さんは、「一部で

をやりだしたい」と話

し、継続してイベント

まる場になってほしい

は、商店街が人の集

大好き。商店街の魅力